



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7226 URL http://www.kyokuto.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部長 (氏名) 栗末 英行 TEL 0798-66-1000
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	81,116	7.9	7,154	0.3	7,465	3.3	5,201	△4.1
29年3月期第3四半期	75,153	1.5	7,134	0.2	7,223	3.8	5,426	25.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 7,348百万円 (9.0%) 29年3月期第3四半期 6,741百万円 (62.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	130.92	—
29年3月期第3四半期	136.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	135,829	87,207	63.4
29年3月期	128,542	80,872	62.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 86,159百万円 29年3月期 80,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
30年3月期	—	18.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	4.0	10,000	△10.3	10,000	△8.8	7,000	△13.9	176.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	42,737,668株	29年3月期	42,737,668株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	3,009,785株	29年3月期	3,009,431株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	39,728,028株	29年3月期3Q	39,728,610株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、不安定な国際情勢があるものの、個人消費および設備投資の持ち直しや海外経済の改善などを背景として緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画 2016-18 ～Value up to the Next～（平成28年4月1日～平成31年3月31日）の2年目として収益基盤の強化と企業品質の向上に向けた各種施策に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は5,963百万円（7.9%）増加して81,116百万円となりました。営業利益は19百万円（0.3%）増加して7,154百万円、経常利益は241百万円（3.3%）増加して7,465百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は225百万円（4.1%）減少して5,201百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

①特装車事業

物流関連の需要に支えられ市場が好調に推移する中、売上の確保を図りました。その他、各工場において生産の合理化に向けた設備投資等を行いました。

また、平成29年10月に国内最長の39mブームと国内最大の吐出量を実現したフラッグシップモデルである新型コンクリートポンプ車「ピストンクリート® PY165-39」を新たなラインナップとして市場に投入したほか、11月には4t車級ごみ収集車のプレス式「プレスパック®」および回転板式「パックマン® チルト」をフルモデルチェンジし発売するなど、積極的な新製品展開を図りました。

これらの結果、売上高は6,104百万円（9.3%）増加して71,528百万円となりました。営業利益は91百万円（1.5%）増加して6,117百万円となりました。

②環境事業

プラント建設では受注済物件の工事を進めたほか、メンテナンスおよび運転受託等のストックビジネスにも注力しました。

バイオガスプラント事業においては、当社子会社でプラント設計・施工、メンテナンスを行う株式会社モリプラントとも連携し、新たな受注に向けた情報収集および提案などの積極的な営業活動を進めました。

しかしながら、プラント部門の工事進行基準売上の減少により、売上高は598百万円（11.0%）減少して4,829百万円となりました。営業利益は13百万円（2.0%）減少して657百万円となりました。

③不動産賃貸等事業

立体駐車装置はリニューアルおよびメンテナンス等のストックビジネスについて受注を確保したほか、コインパーキングは、平成29年4月に名古屋市にオープンした立体駐車場「ささしまライブパーキング」をはじめとした各事業地で売上の確保を図りました。

海外では、インドネシアで平成29年5月に初号機が竣工した立体駐車装置について積極的な営業活動を図り、潜在的なニーズの発掘を行いました。

これらの結果、売上高は439百万円（9.1%）増加して5,257百万円となりました。一方、営業利益は18百万円（2.0%）減少して922百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は7,287百万円(5.7%)増加して135,829百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金の増加等により3,045百万円(4.3%)増加して74,673百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の時価の上昇等により4,242百万円(7.5%)増加して61,156百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は電子記録債務の増加等により977百万円(2.7%)増加して37,485百万円、固定負債は長期借入金の返済等により23百万円(0.2%)減少して11,137百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により、6,334百万円(7.8%)増加して87,207百万円となりました。

なお、自己資本比率は63.4%(前連結会計年度末62.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では概ね公表値どおりに進捗しているため、平成29年11月7日に公表いたしました業績予想の修正は行いません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,684	8,985
受取手形及び売掛金	38,759	37,925
有価証券	10,900	9,500
商品及び製品	883	1,389
仕掛品	4,305	5,827
原材料及び貯蔵品	7,363	8,403
前払費用	453	551
繰延税金資産	1,382	1,039
その他	952	1,108
貸倒引当金	△57	△56
流動資産合計	71,627	74,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,621	12,145
機械装置及び運搬具(純額)	5,174	5,331
土地	20,642	20,579
建設仮勘定	176	381
その他(純額)	1,358	1,373
有形固定資産合計	38,973	39,811
無形固定資産		
その他	647	682
無形固定資産合計	647	682
投資その他の資産		
投資有価証券	15,518	18,400
長期前払費用	379	329
退職給付に係る資産	—	93
繰延税金資産	53	97
その他	2,071	2,452
貸倒引当金	△729	△709
投資その他の資産合計	17,292	20,663
固定資産合計	56,914	61,156
資産合計	128,542	135,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,016	15,925
電子記録債務	7,461	10,058
短期借入金	2,638	3,577
1年内返済予定の長期借入金	1,530	1,413
未払法人税等	1,906	487
未払消費税等	1,124	664
未払費用	3,915	2,136
引当金	930	1,878
その他	982	1,343
流動負債合計	36,508	37,485
固定負債		
長期借入金	2,610	1,828
長期預り保証金	2,523	2,366
退職給付に係る負債	732	623
引当金	205	151
繰延税金負債	4,316	5,432
その他	772	734
固定負債合計	11,160	11,137
負債合計	47,669	48,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718
利益剰余金	53,723	57,475
自己株式	△2,150	△2,150
株主資本合計	75,192	78,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,166	7,495
為替換算調整勘定	△11	△75
退職給付に係る調整累計額	△239	△202
その他の包括利益累計額合計	4,915	7,216
非支配株主持分	765	1,047
純資産合計	80,872	87,207
負債純資産合計	128,542	135,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	75,153	81,116
売上原価	59,022	64,348
売上総利益	16,130	16,768
販売費及び一般管理費	8,995	9,613
営業利益	7,134	7,154
営業外収益		
受取利息及び配当金	282	329
為替差益	53	58
雑収入	51	133
営業外収益合計	387	520
営業外費用		
支払利息	65	76
持分法による投資損失	166	60
雑支出	65	73
営業外費用合計	298	209
経常利益	7,223	7,465
特別利益		
固定資産売却益	6	5
投資有価証券売却益	1	103
特別利益合計	7	109
特別損失		
固定資産処分損	61	317
投資有価証券評価損	16	—
その他	13	4
特別損失合計	91	321
税金等調整前四半期純利益	7,139	7,253
法人税等	1,814	2,215
四半期純利益	5,324	5,037
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△101	△163
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,426	5,201

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	5,324	5,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,638	2,328
為替換算調整勘定	△169	△45
退職給付に係る調整額	57	36
持分法適用会社に対する持分相当額	△109	△9
その他の包括利益合計	1,416	2,310
四半期包括利益	6,741	7,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,953	7,502
非支配株主に係る四半期包括利益	△211	△153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	65,413	5,426	4,313	75,153	—	75,153
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	1	505	517	△517	—
計	65,424	5,427	4,818	75,670	△517	75,153
セグメント利益	6,026	671	941	7,638	△504	7,134

(注) 1 セグメント利益の調整額△504百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△507百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	71,504	4,827	4,784	81,116	—	81,116
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	1	473	499	△499	—
計	71,528	4,829	5,257	81,615	△499	81,116
セグメント利益	6,117	657	922	7,698	△544	7,154

(注) 1 セグメント利益の調整額△544百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△547百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。